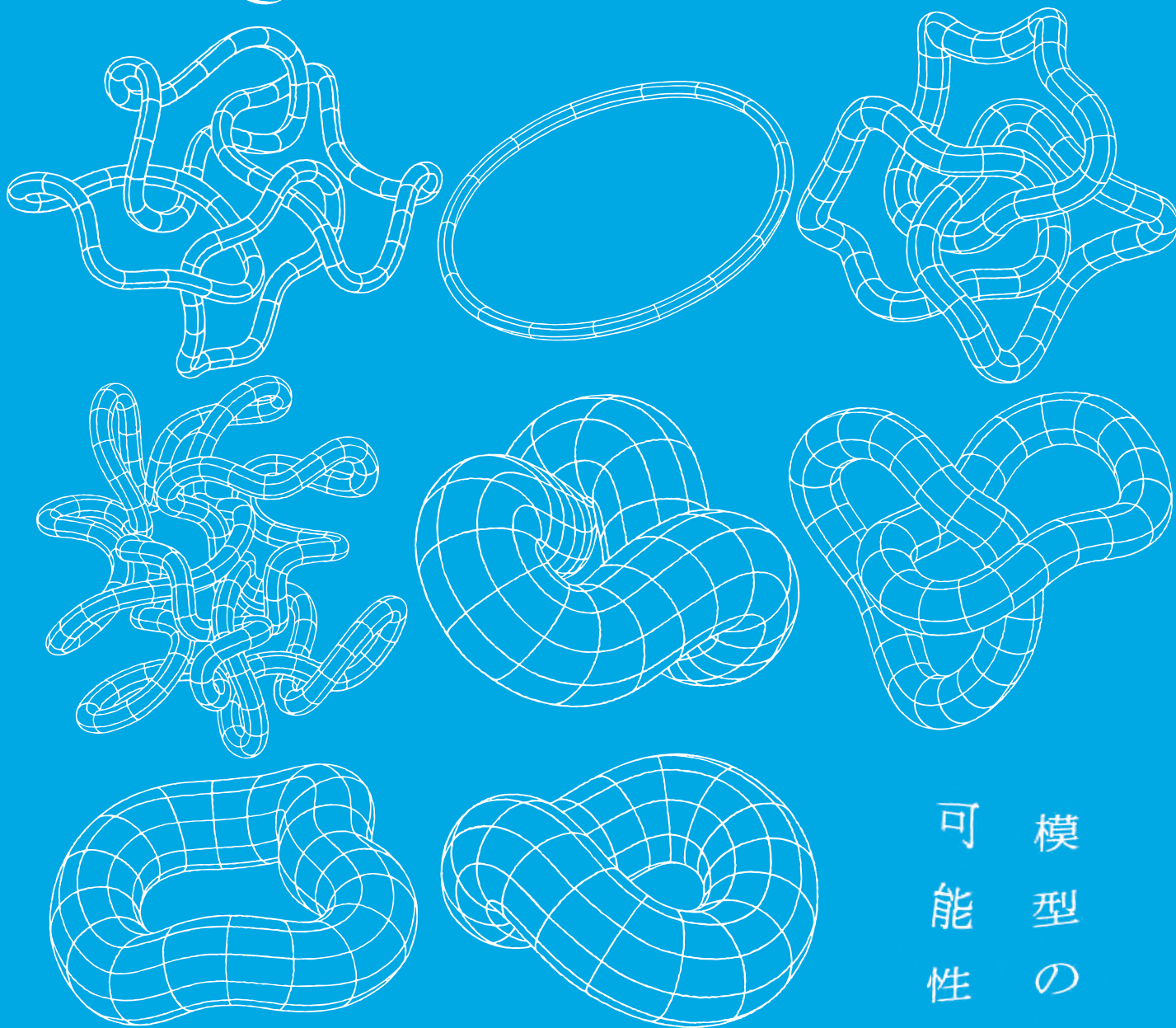


波板と珊瑚礁

建築を遠くに投げる八の実践

Corrugated/Coral Eight Practices to Project Architecture Afar



可 模
能 型
性 の

ALTEMY | Office Yuasa | ガラージュ | GROUP | DOMINO ARCHITECTS
畠山鉄生+吉野太基+アーキペラゴアーキテツスタジオ | 平野利樹 | RUI Architects

date 2026 4.21 tue - 9.13 sun | venue WHAT MUSEUM



what.museum.art.org
exhibitions/
corrugated/coral

WHAT MUSEUM | 〒140-0002 東京都品川区東品川2-6-10 寺田倉庫G号 | G bldg 2-6-10 Higashishinagawa Shinagawa-kū Tokyo 140-0002

主催 WHAT MUSEUM | 企画 WHAT MUSEUM 建築倉庫, SUNAKI | Organizing WHAT MUSEUM | Planning WHAT MUSEUM ARCHI-DEPOT, SUNAKI

WHAT

波板と珊瑚礁 ——— 建築を遠くに投げる八の実践

模型の可能性

WHAT MUSEUMの建築倉庫はこれまで、建築模型を通して専門的な建築の思考を開かれた形で紹介してきました。本展では、模型を単なる縮尺物としてではなく、概念や思考の断片を担うメディアとして捉え、その拡張的な側面に焦点をあてます。主に2010年以降に活動をはじめた建築家八組が、本展のために制作する模型や映像、空間的な構成を通して、建築家の思考そのものを提示します。

情報技術の進展によって社会の変化は加速し、建築は短いサイクルでの応答や更新を求められています。一方で、本展は長い時間の中で環境や社会との関係を構想する視点を再確認し、建築的思考の射程をあらためて問い直す契機を示します。タイトルの「波板と珊瑚礁」は、異なる時間やスケール、生成の速度が重なり合いながら共存する状態を示す間接的な比喩です。いま目の前にある現実を少し遠くに置き、遠くにある未来を手元に引き寄せて思考すること。建築家たちの試みを介して、来場者の方々にとっても、普段とは異なる視点で世界をみる機会になればうれしく思います。

関連コンペ | 本展開催を記念して本展企画関連コンペを開催します。詳細は展覧会の公式サイトをご確認ください。

関連イベント | 会期中は、出展者によるトークイベントや講演会を開催予定です。詳細は特設HPにて順次発表いたします。

会期 **2026年4月21日(火) - 9月13日(日)**
会場 **WHAT MUSEUM**

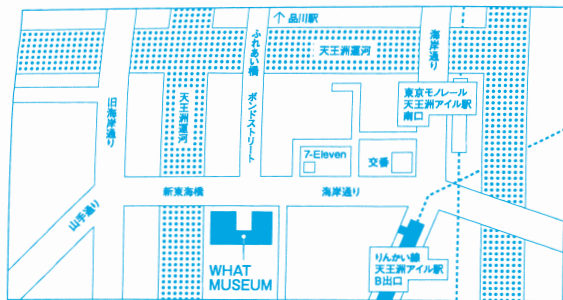
〒140-0002 東京都品川区東品川2-6-10 寺田倉庫G号

開館時間 **11:00 - 18:00** (最終入館 17:00) - 日時指定のオンラインチケットは200円割引でご購入いただけます
休館日 **月曜** (祝日の場合、翌火曜休館)
入館料 **一般 1500円** - 本展会期中何度でもご来館いただけるお得なパスポートを発売
大学生・専門学生 800円 展覧会パスポート 2,500円
高校生以下 無料 - 建築倉庫 セットチケットも発売中(本展入場料+建築倉庫入館料) 2,000円ほか



公式サイトより最新の情報をご確認ください。

アクセス



東京モノレール 天王洲アイル駅より徒歩5分
東京臨海高速鉄道りんかい線 天王洲アイル駅B出口より徒歩4分

音声ガイド(無料) モデル・市川紗椰さんが音声ガイドナビゲーター(日本語・英語)を務めます。WHAT MUSEUM公式アプリをダウンロードすると、ご自身のスマートフォンとイヤホンで無料で音声ガイドをご利用いただけます。

建築倉庫について WHAT MUSEUMの建築倉庫では、建築家や設計事務所からお預かりした800点以上の建築模型を保管し、倉庫内でその一部を公開しています。また、建築模型を用いた企画展示やワークショップ、イベントを開催します。

建築倉庫についての詳細はHPをご確認ください。



Instagram
@archi_depot
X
@archidepot

出展者

ALTEMY

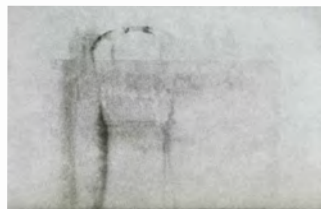


往還する身体

©ALTEMY

津川恵理が代表を務める建築デザインスタジオ／一級建築士事務所。建築、ランドスケープ、インスタレーション、モビリティ、ファッションなど、分野を問わず「アーキテクチャ」として設計している。

Office Yuasa



間、遅れた微光

©Office Yuasa

湯浅良介 | 1982年東京都生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。内藤廣建築設計事務所を経て、2019年よりOffice Yuasaを主宰。2024年より多摩美術大学准教授。

ガラージュ



ほどかれた結界

©ガラージュ

建築・映像・演劇の専門領域をもつメンバーによって構成された建築集団。建築を「変化しつづける事象の一過程」と考え、映像／演劇／お祭／フィールドワーク等も含めた時間・空間のデザイン活動を実践している。

GROUP

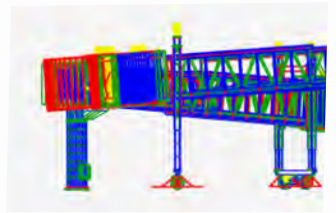


都市と眠り

photo by ma.psd
©GROUP

建築プロジェクトを通して、異なる専門性を持つ人々が仮設的かつ継続的に共同できる場の構築を目指し、建築設計・リサーチ・施工をする建築コレクティブ。

DOMINO ARCHITECTS



PULP FICTION (jetway) ©DOMINO ARCHITECTS

デザインの実践と理論の両面から歴史や文脈への接続を試み、情報と物質、デジタルとアナログ、ハイテクとローテクを相対化するような設計を手がける。その活動はさまざまなチームとの協働によって形作られる。

富山鉄生+吉野太基+

アーキペラゴアーキテツスタジオ



What is OΔO? ©アーキペラゴアーキテツスタジオ

富山鉄生 | 1986年富山県生まれ。増田信吾+大坪克直を経て2017年アーキペラゴアーキテツスタジオ設立。
吉野太基 | 1988年熊本県生まれ。長谷川豪建築設計事務所を経て2020年アーキペラゴアーキテツスタジオ参画。

平野 利樹



東京箱庭計画

©Toshiki Hirano

建築家、研究者。1985年生まれ。東京大学建築学専攻博士課程修了。建築の新しい美学を、デジタルテクノロジーの活用や、美術・哲学など他領域との議論を通して探究する。

RUI Architects



Prop

©RUI Architects

2018年、板坂留五により設立。建築設計を軸にプロダクトデザインや企画など、他領域との活動も積極的に行う。Under 35 Architects exhibition 2021 Gold Medal受賞。

主催 WHAT MUSEUM 企画 WHAT MUSEUM 建築倉庫、SUNAKI
会場デザイン SUNAKI(砂山太一、寺岡波瑠) 映像 瀬尾憲司
グラフィック 鈴木哲生 後援 品川区、品川区教育委員会

WHAT